

平成18年度

# 関東食料・農業・農村情勢報告

第1部（特集編）：「関東地域における都市農業の動向と課題」

～食・癒・和・・・都市農業のフロンティア～

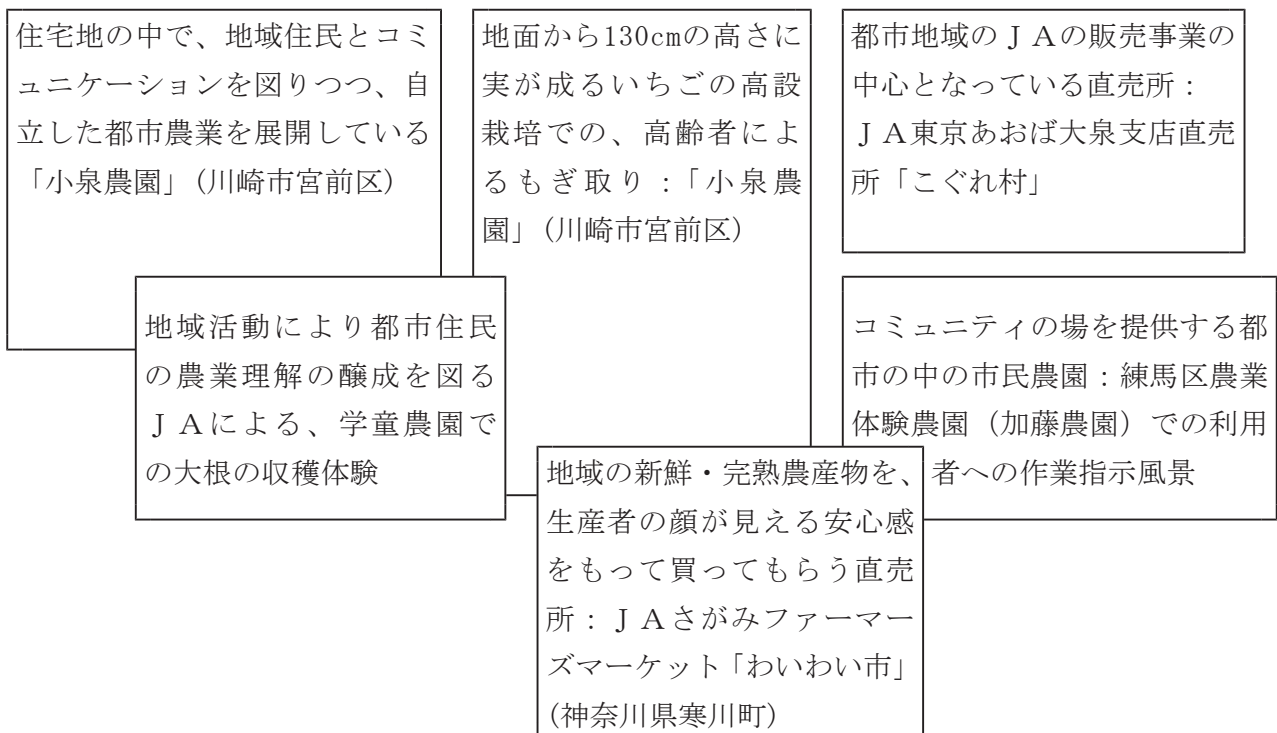
第2部（動向編）



農林水産省 関東農政局

## 表紙写真説明

第1部（特集編）：「関東地域における都市農業の動向と課題」参照



## はじめに

関東農政局管内1都9県は、首都圏という我が国人口の4割の人々が住む巨大な消費地を擁しており、地域特性を活かしながら消費者ニーズに対応した多様な農業生産が展開されています。また、農業就業人口及び農業産出額では全国の約4分の1を占め、一大食料供給基地を形成しています。

こうした管内の特性を踏まえ、関東農政局では、平成17年3月に策定された食料、農業及び農村に関する各種施策の基本となる新たな「食料・農業・農村基本計画」に基づき、消費者の視点に立った施策の強化、農業者や地域の主体性と創意工夫の発揮の促進、環境保全を重視した施策の展開、新たな動きを踏まえた「攻めの農政」の展開等に重点をおきながら、農政改革を進めているところです。

この農政改革を実効あるものにしていくためには、管内の地方公共団体と連携し、農業者、農業団体、食品産業関係者、消費者等の関係者の皆様との対話を進め、政策の内容について理解を深めていただくとともに現場の実態を反映していくことが重要と考えています。

本報告は、こうした関東地域における国民参加型の農政を推進するための情報提供の一環として、管内の食料・農業・農村の最近の動向とこれらをめぐる問題点等をできるだけ明らかにし、関係者の皆様がそれぞれの地域で食料・農業・農村にかかる各種施策への参画を進めていただく契機となるよう作成しました。

第1部の「特集編」では、「関東地域における都市農業の動向と課題～食・癒・和…都市農業のフロンティア～」と題して、首都圏という大消費地をかかえ地域特性を活かしながら消費者ニーズに対応して営農している都市農業をテーマとして取り上げました。その主な内容は、管内での都市農業をめぐる現状について記述するとともに、関東農政局で実施した「都市農業に関するウェブアンケート結果」について集計・分析しその概要を掲載しました。また、東京都、神奈川県において現地調査を行い、事例を通して都市農業の取組内容、課題と今後の展開方向等をわかりやすく取りまとめました。

第2部の「動向編」では、「食料・農業・農村基本計画」で示された施策の方向を念頭に置きつつ、①食料自給率の向上と食料の安定供給、②農業の体質強化と攻めの視点に立った生産の展開、③農村の活性化、都市と農村の共生・対流の促進の3つの章立てで管内の動向を取りまとめました。このうち、管内における特徴的な動きをトピックスとして7つ取りあげました。そのうちの1つは、親子での小麦収穫・地粉う

どん打ち体験等を通して、農林水産業への理解に根ざした食育を推進している農政局の取組について、「農業体験、調理体験の推進」として記載しました。もう1つは、農業の多面的機能の重要性について、都市住民等を対象として開催しました「田んぼみらいフォーラム」の概要について記載しました。

本報告が関係者の方々に広く活用され、今後の農業、農村や地域の発展方策を考える一助としていただくことができれば幸いです。

最後になりましたが、本報告の取りまとめに際しまして、ご協力いただいた方々に深く感謝申し上げます。

平成19年11月

関東農政局長 荒木 喜一郎

# 目 次

## 第1部（特集編）「関東地域における都市農業の動向と課題」

～食・癒・和・・・都市農業のフロンティア～

<b>I 都市農業・農地の現状及び動向</b>	4
<b>1 都市農地をめぐる制度</b>	4
<b>2 都市農業の姿</b>	5
(1) 農業生産の現状及び動向	5
(2) 農産物の流通・販売	7
(3) 農業経営の現状及び動向	10
(4) 担い手の現状及び動向	13
(5) 農地の推移と利用状況	18
<b>3 都市農業の多様な取組</b>	24
(1) 農業体験型農園の展開	24
(2) 市民農園の開設・利用状況	25
(3) 小学校における「学童農園」の取組	26
(4) 都市農業と福祉、セラピー機能の活用	26
(5) 防災協力農地の状況	27
(6) 土地利用の線引き、市街化調整区域への逆線引きと 農業振興地域の指定	29
(7) 都市農業・農地の多面的機能に着目した評価	31
<b>II 都市農業に関する政策</b>	32
<b>1 農林水産省の対応</b>	32
<b>2 自治体及びJAの動き</b>	33
(1) 自治体の取組	33
(2) JAの取組	34

<b>Ⅲ 課題と対応方向</b>	36
<b>1 都市農業の振興方向・農地保全の明確化</b>	36
<b>2 新鮮・安全な農産物の都市住民への持続的な供給</b>	36
(1) 自立した都市農業の展開	36
(2) 魅力ある直売所の展開による地産地消の取組	37
(3) 多様な主体が連携した都市農業	37
<b>3 都市住民のニーズに対応した都市農業の展開</b>	41
(1) 農業体験希望者のニーズを取り入れた農業体験型農園の 一層の展開	41
(2) 農業ボランティアの育成	41
(3) 農地所有者と地域住民の連携による市民農園の利用の拡大	42
(4) 教育（学童農園）・食育活動の取組と支援	42
(5) 福祉やセラピー機能と結び付いた農業の展開	43
(6) 都市農業・農地の保全による良好な緑地空間の形成、 防災機能の発揮	43
<b>4 都市農地の保全</b>	44
(1) 生産緑地地区の指定、逆線引きの活用及び農業振興地域指定	44
(2) 都市農業見直しの動き	45
<b>おわりに</b>	46

## 第2部（動向編） 関東食料・農業・農村の動向

管内における特徴的な動き（トピックス）	49
1 食料自給率の向上に向けた管内の取組	49
2 農業体験、調理体験の推進	50
3 品目横断的経営安定対策の19年産秋まき麦作付け農家の加入申請状況	51
4 国営総合農地防災事業 大里地区の完工	52
5 国営土地改良事業地区営農推進功労者表彰式及び意見交換会の開催	54
6 食料産業クラスターの形成に向けた取組	55
7 田んぼみらいフォーラムの開催 【都市の温暖化を緩和する水田の働き】	56
<b>I 食料自給率の向上と食料の安定供給</b>	<b>59</b>
1 食料自給率の向上に向けた管内の取組	59
（1）食料自給率の向上に向けた農政局の取組	59
（2）最近、農業振興ビジョン等の改訂をした管内都県における 農業振興ビジョン等の実現に向けた取組	60
（3）米消費拡大の取組	65
① 米飯学校給食推進の取組	65
② 米粉利用食品の普及・推進の取組	67
（4）食料自給率向上に資する優良取組事例	68
2 安全な食料の安定供給と消費者の信頼確保	70
（1）消費・安全行政の推進	70
（2）リスク管理、リスクコミュニケーションの推進	70
① 生産資材の適正な使用・管理の推進	70
② 農作物のリスク管理等を推進するための調査の実施	70
③ 農薬の適正使用・管理の推進	71
④ GAPの推進	72
⑤ リスクコミュニケーション等の推進	74
（3）消費者の信頼の確保	74
① トレーサビリティ・システムの導入の促進	74
② 高病原性鳥インフルエンザ発生時への対応	75
（4）食品表示の適正化	75
① 生鮮食品等の表示調査の実施	76

② 有機農産物、特別栽培農産物、 「無農薬」等の表示が付された農産物の表示調査	76
③ 任意調査等	77
④ 食品表示地域フォーラムの開催	77

### 3 日本型食生活の実現と生産から消費に至る多様な取組 78

(1) 食育の推進	78
① 農業体験、調理体験等の取組	78
② 「食生活指針」や「食事バランスガイド」の普及・活用の促進の 取組	79
③ 関係機関、NPO等との連携したシンポジウム等の開催	79
④ 食育推進ネットワークの活動を進める取組	79
(2) 地産地消の推進	81
① 全国段階の動き	81
② 関東農政局の取組	81
③ 各都県での地産地消の取組	89
(3) 食品産業等をめぐる動向	90
① 食品産業・卸売市場の動向	90
② 食品産業・卸売市場流通の課題と行政の取組	97

## II 農業の体質強化と攻めの視点に立った生産の展開 103

### 1 関東農業の全国に占める位置と農業生産等の動向 103

(1) 関東農業の全国に占める位置	103
① 主要農業指標と全国におけるシェア	103
② 農業産出額の全国シェアと順位	103
(2) 農業生産の動向	104
① 部門別農業生産の推移	104
② 各都県の主要農業部門割合	105
(3) 農業構造の動向（関東・東山）	106
① 農業経営体数及び販売農家数	106
② 主副業別農家数の構成割合（販売農家）	107
③ 農家人口（販売農家）	108
④ 農業従事者数（販売農家）	108

<b>2 農業の構造改革の加速化に向けた取組</b> . . . . .	109
(1) 担い手の確保・育成 . . . . .	109
① 認定農業者の現状と課題 . . . . .	109
② 農業経営の法人化の現状と課題 . . . . .	115
③ 農業経営の高度化に対する支援（経営構造対策等の推進） . . . . .	119
④ 新規就農の現状と課題 . . . . .	121
⑤ 農村における女性の社会参画の状況 . . . . .	125
⑥ 農村における高齢者の現状と課題 . . . . .	130
⑦ 農協組織の現状と活動状況 . . . . .	133
⑧ 農業制度金融の動向 . . . . .	136
(2) 経営所得安定対策等大綱の実現に向けた取組 . . . . .	139
① 品目横断的経営安定対策の実施に向けた取組 . . . . .	139
② 米政策改革の着実な推進に向けた取組 . . . . .	145
(3) 耕作放棄地の動向と農地流動化の促進 . . . . .	149
① 農業振興地域の現状 . . . . .	149
② 耕地の利用状況 . . . . .	150
③ 耕作放棄地の現状と解消に向けた取組 . . . . .	151
④ 鳥獣害対策の推進 . . . . .	157
⑤ 農地流動化の現状と課題、今後の方向 . . . . .	162
⑥ 農地転用の現状 . . . . .	167
<b>3 攻めの視点に立った多様な取組と農業の持続的な発展</b> . . . . .	169
(1) 農林水産物・食品輸出の一層の促進 . . . . .	169
① 農林水産物・食品輸出をめぐる現状 . . . . .	169
② 農林水産物等の輸出に向けた取組の概要 . . . . .	169
③ 管内各県における農林水産物等の輸出マーケティングの実践 . . . . .	174
(2) バイオマス利活用の推進 . . . . .	184
① バイオマス利活用の意義と戦略 . . . . .	184
② 管内バイオマス利活用の現状 . . . . .	184
③ バイオマス連絡協議会の取組 . . . . .	192
(3) 付加価値の向上や知的財産の創造・保護・活用の取組 . . . . .	193
① 新たな技術の開発・普及状況 . . . . .	193
② 地域ブランド化に向けた取組 . . . . .	204
(4) 環境保全型農業の推進 . . . . .	207
① 環境保全型農業の推進 . . . . .	207

② 畜産環境問題の動向	209
<b>4 作物別にみた生産・流通の実態</b>	210
(1) 土地利用型作物	210
① 米（生産、流通、価格の動向）	210
② 麦（生産、流通、価格の動向）	216
③ 豆類	218
(2) 園芸作物	222
① 野菜	222
② 果樹	230
③ 花き	239
(3) 特産農作物	243
① 茶	243
② 養蚕	245
③ こんにゃくいも	245
(4) 畜産・飼料作物	247
① 生産動向	247
② 今後の課題	255
<b>5 平成18年度の気象等の経過と農業生産への影響</b>	257
(1) 気象経過	257
(2) 被害状況	258
(3) 農地・農業用施設等の災害の状況	259
<b>Ⅲ 農村の活性化、都市と農村の共生・対流の促進</b>	261
<b>1 農村の状況</b>	261
(1) 農業集落の動向	261
① 農業集落の変化	261
② 農業集落の活動の状況	262
(2) 社会生産基盤の整備	264
① 農業生産基盤整備の実施状況	264
② 国営事業地区における農業経営育成支援の取組	269
③ 土地改良区組織（水土里ネット）の現状と新たな取組	271
④ 課題と新たな展開方向	275

<b>2 農村の活性化に向けた取組</b>	276
(1) 食と農の連携強化	276
(2) 食品産業・農業等によるネットワークの形成	277
<b>3 農村資源の保全・活用と農村環境の向上</b>	279
(1) 農村の多様な資源と農業の多面的機能	279
(2) 農村資源の維持管理・保全と地域環境保全活動	281
① 農業水利施設の長寿命化、効率的な更新整備、保全管理の促進	281
② 環境との調和に配慮した農業農村整備	284
③ 中山間の活性化に向けた取組	294
④ 中山間地域等直接支払制度の取組	297
⑤ 農業生産基盤と一体的な生活環境整備の推進	300
⑥ 豊かなむらづくり全国表彰事業の実施	303
⑦ 地域再生計画の認定状況	306
(3) 農地・水・環境保全向上対策の取組	307
<b>4 都市と農村の共生・対流の促進を通じた農村地域の活性化</b>	310
(1) 都市農業の振興	310
① 生産緑地の現状	310
② 都市農業への支援	311
③ 関東農政局の取組	312
(2) 都市と農山漁村の共生・対流の推進	315
① 都市と農山漁村の共生・対流の実現に向けた取組	315
② 都市と農山漁村の共生・対流関連事業	318
③ 市民農園等の開設状況	320
<b>(巻末参考)</b>	321
関東管内都県主要指標	323
平成18年度 関東農政局行動計画評価結果の概要	324
平成18年度 農政局日誌（主な行事一覧）	331
平成18年度 関東管内の表彰事業での受賞一覧	341
平成18年度 刊行物・パンフレット一覧（主なもの）	352

## ～ 第2部（動向編）の構成 ～

### I 食料自給率の向上と食料の安定供給

<p><b>1 食料自給率の向上に向けた管内の取組</b></p> <p>(1) 食料自給率の向上に向けた農政局の取組</p> <p>トピックス1 食料自給率の向上に向けた管内の取組</p> <p>(2) 最近、農業振興ビジョン等の改訂をした管内都県における農業振興ビジョン等の実現に向けた取組</p> <p>(3) 米消費拡大の取組</p> <p>(4) 食料自給率向上に資する優良取組事例</p>	<p><b>2 安全な食料の安定供給と消費者の信頼確保</b></p> <p>(1) 消費・安全行政の推進</p> <p>(2) リスク管理、リスクコミュニケーションの推進</p> <p>(3) 消費者の信頼の確保</p> <p>(4) 食品表示の適正化</p> <p><b>3 日本型食生活の実現と生産から消費に至る多様な取組</b></p> <p>(1) 食育の推進</p> <p>トピックス2 農業体験、調理体験の推進</p> <p>(2) 地産地消の推進</p> <p>(3) 食品産業等をめぐる動向</p>
--	--

### II 農業の体質強化と攻めの視点に立った生産の展開

<p><b>1 関東農業の全国に占める位置と農業生産等の動向</b></p> <p>(1) 関東農業の全国に占める位置</p> <p>(2) 農業生産の動向</p> <p>(3) 農業構造の動向（関東・東山）</p> <p><b>2 農業の構造改革の加速化に向けた取組</b></p> <p>(1) 担い手の確保・育成</p> <p>(2) 経営所得安定対策等大綱の実現に向けた取組</p> <p>トピックス3 品目横断的経営安定対策の19年産秋まき麦作付け農家の加入申請状況</p> <p>(3) 耕作放棄地の動向と農地流動化の促進</p>	<p><b>3 攻めの視点に立った多様な取組と農業の持続的な発展</b></p> <p>(1) 農林水産物・食品輸出の一層の促進</p> <p>(2) バイオマス利活用の推進</p> <p>(3) 付加価値の向上や知的財産の創造・保護・活用の取組</p> <p>(4) 環境保全型農業の推進</p> <p><b>4 作物別にみた生産・流通の実態</b></p> <p>(1) 土地利用型作物</p> <p>(2) 園芸作物</p> <p>(3) 特産農作物</p> <p>(4) 畜産・飼料作物</p> <p><b>5 平成18年度の気象等の経過と農業生産への影響</b></p> <p>(1) 気象経過</p> <p>(2) 被害状況</p> <p>(3) 農地・農業用施設等の災害の状況</p>
---	---

### III 農村の活性化、都市と農村の共生・対流の促進

<p><b>1 農村の状況</b></p> <p>(1) 農業集落の動向</p> <p>(2) 社会生産基盤の整備</p> <p>トピックス4 国営総合農地防災事業 大里地区の完工</p> <p>トピックス5 国営土地改良事業地区営農推進功労者表彰式及び意見交換会の開催</p> <p><b>2 農村の活性化に向けた取組</b></p> <p>(1) 食と農の連携強化</p> <p>(2) 食品産業・農業等によるネットワークの形成</p> <p>トピックス6 食料産業クラスターの形成に向けた取組</p>	<p><b>3 農村資源の保全・活用と農村環境の向上</b></p> <p>(1) 農村の多様な資源と農業の多面的機能</p> <p>(2) 農村資源の維持管理・保全と地域環境保全活動</p> <p>トピックス7 田んぼみらいフォーラムの開催【都市の温暖化を緩和する水田の働き】</p> <p>(3) 農地・水・環境保全向上対策の取組</p> <p><b>4 都市と農村の共生・対流の促進を通じた農村地域の活性化</b></p> <p>(1) 都市農業の振興</p> <p>(2) 都市と農山漁村の共生・対流の推進</p>
---	---